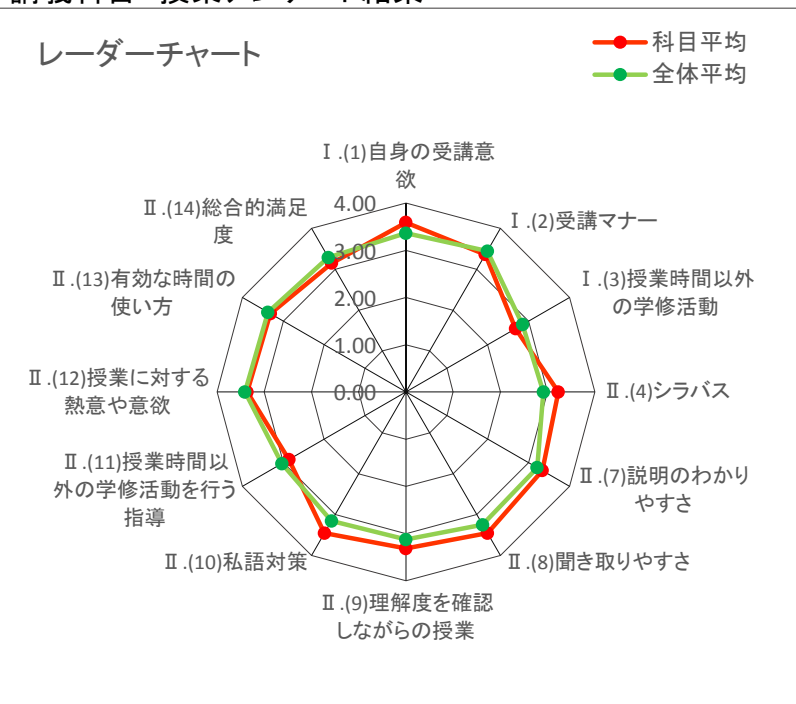
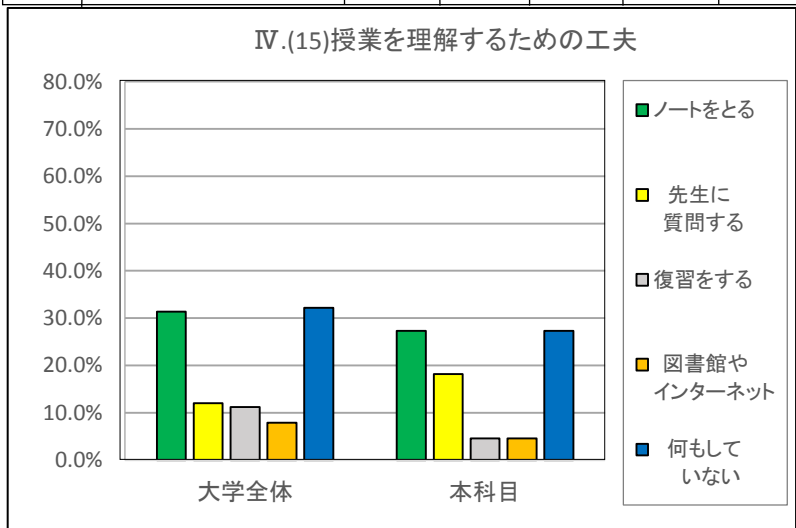


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2.(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(15) 授業を理解するための工夫	27.3%	18.2%	4.5%	4.5%	27.3%



アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2015年度 前期
時間割番号	31303
科目名	リスクマネジメント I
教員名	

①授業計画の達成度について

シラバスに記載したように、15回の授業時を3区分(5回×3)して、3回の確認テストを実施して成績評価をおこなった。始めの10回でリスクマネジメントを概説し、残りの5回でケース・スタディとして「大規模食中毒による信頼失墜」のケースを取り上げた。以上、計画通りの進行であった。難易度については、学生によって評価が分かれている。特にケーススタディでは、ケースの説明の長文を読むことが、留学生には困難を与えた可能性がある。とは言え、講義内容の水準を下げることは、逆効果になるのではないかと考えている。

②授業の進め方について

授業の進め方としては、学生の授業への参加の度合いを高くするという基本方針を立てた。学生の理解を確かめながら、授業をすすめるためにも、確認テストの次の回では、学生の答案の中から代表的な回答をコピーして配布して、重要な概念の確認をおこなった。同じ授業を受けて、同じ問いに、他の学生がどのように回答しているのかを知ることで、自らの理解度を確かめてくれることを狙いとしたのである。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

総合的満足度のポイントが低い値になっている点に注目して考えてみたい。
リスクマネジメントを担当して6年目であり、授業内容はある程度、確定したものとなってきている。具体的な問題を知ってもらう意味でも、ケース・スタディが興味を引き出すと考えて実施している。細かな現実の展開を追跡するためには、資料を読む必要があるのだが、この点が学生にとってハードルが高いのではないかと推察している。そこでより単純なケースを複数扱い、ワークショップ形式の授業を設計してみたいと考えている。

	設問No	科目平均	全体平均
受講姿勢	I.(1)	3.59	3.36
	I.(2)	3.36	3.45
	I.(3)	2.68	2.86
受講内容・方法	II.(4)	3.23	2.91
	II.(5)		
	II.(6)		
	II.(7)	3.33	3.21
	II.(8)	3.45	3.25
	II.(9)	3.32	3.13
	II.(10)	3.45	3.16
	II.(11)	2.86	3.04
	II.(12)	3.36	3.41
	II.(13)	3.32	3.37
満足度	II.(14)	3.15	3.29

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	3.21	3.22
I.(1)~(3)		
講義内容・方法	3.29	3.18
II.(4)~(13)		
総合的満足度	3.15	3.29
III.(14)		